

市民活動団体 応援コーナー

このコーナーは、毎月1日号で、市内で活動する皆さんの主催するイベントや会員募集を紹介するものです。

掲載申込みの詳細は、市ホームページをご覧ください。

☎広報広聴課 ☎983・2620

三島市 市民活動団体応援 検索 

平成31年2月1日号への掲載の申込みは、12月21日(金)までに、広報広聴課
✉kouhou@city.mishima.shizuoka.jp、FAX 983・2719

広報みしま	締切日
平成31年3月1日号	1月25日(金)
平成31年4月1日号	2月26日(火)
平成31年5月1日号	3月28日(木)

子育て・教育

第5回ちびっこ国際教室

World Festival～世界のお祭り～

☎12月16日(日)午後1時～4時 日本大学国際関係学部三島校舎 子供たちに海外に興味を持ってもらうため日大生と外国人留学生がさまざまなお祭りを再現します。一緒に楽しみましょう ☎100円(保険料) ☎小学生 ☎先着80人 ☎12月10日(月)までに、✉chibikoku.nichidai@gmail.com に空メール ☎牧 ☎090・7953・2712

文化

日本大学国際関係学部吹奏楽部 第28回定期演奏会

☎12月16日(日)開場午後1時30分、開演午後2時 長泉町文化センター 吹奏楽のための小狂詩曲、東京ブギウギほか ☎無料 ☎どなたでも ☎鈴木 ☎080・8212・9256

伊豆中央高校吹奏楽部 第29回冬のコンサート

☎12月24日(月・振休)開場午後4時30分、開演午後5時 函南町文化センター大ホール ☎指揮：藤田光介 ▶ アルセナルほか ☎無料 ☎伊豆中央高等学校 ☎949・4771

初心者短歌教室 素の会 あなたも短歌をはじめませんか

心の揺らぎを31文字に。見つめることは愛すること、言葉は自分より出て自分に帰ってきます ☎毎月第2水曜日 生涯学習センター研修室 素の会代表：君山宇多子 ☎月1,000円 ☎関平澤和子 ☎986・8456

スポーツ・健康

武蔵をうならせた武術、杖道 同好会会員募集

☎毎週土曜日午前9時～正午 西小学校、市民体育館 杖と木刀による形稽古を行う古武道です。老若男女誰でもできます。武道経験のない人も大歓迎 ☎中学生以下：月300円、高校生：月500円、大人：月1,000円 ☎関山形 ☎972・5670

三島市テニス協会硬式テニス教室

☎平成31年1月10日～3月14日 毎週木曜日午後1時～3時 文教テニスコート ☎6,000円(8回分) ☎市内在住、在勤の18歳以上の人 ☎初心者：10人、初～中級：20人 ☎12月20日(休)までにがきに住所、氏名、希望クラス、電話番号を記入し、市民体育館内三島市テニス協会硬式テニス教室宛 ☎411・0033 文教町2・10・57 ☎新妻 ☎090・5103・1819

その他

高齢者、障がい者、車いす利用者のための 福祉レクリエーション参加者募集

☎平成31年1月12日、2月2日、3月2日 各日土曜日午前10時～11時30分 社会福祉会館3階第1会議室 ☎無料 ☎どなたでも ☎不要 ☎静岡県福祉レクリエーション連盟・齋藤 ☎941・6465

婚活料理教室&スイーツブッフェ 三島で踏み出せその一歩！！

☎平成31年1月13日(日)午前11時～午後2時 関gawa Mishima (北田町) ☎オシャレな料理とアットホームな婚活会。小川正道シェフのご指導でグループで料理を作ります ※詳細はサムオレで検索 ☎30～49歳 ☎女性3,500円、男性4,500円 ☎男女各10人 ☎関平成31年1月10日(休)までにサムシング オレンジ三島・中嶋 ☎maushima@yahoo.co.jp

ひとり親・寡婦のための 就業支援講習会パソコン講座

☎平成31年1月13日(日)、27日(日)午前10時～午後4時 生涯学習センター5階 ☎ファイル管理、ビジネス文書作成、履歴書・職務経歴書の作り方 (USBメモリに保存してプレゼント) ※無料託児有り、申込時に要予約 ☎無料 ☎ひとり親、寡婦で就職に役立てたい人 ☎関平成31年1月7日(日)までに母子家庭等就業・自立支援センター ☎054・254・1191



▲みんな花が大好きです

三島花の会は、市内シニアを中心に昭和55年に発足しました。市内の環境美化、緑化の推進を目的に、除草・花がら摘み、植え替え、清掃、花づくり講習会、三島みどりまつりやみしま花のまちフェアをはじめとするイベント参加を行っています。

花好きな仲間が集まり、現在は100人ほどで活動しています。花づくりを通して挨拶から始まる緑と人の輪を広げようと、「1つでも参加できれば花友」を合言葉に、地域の緑化リーダー役として、無理のない会の運営に努めています。

花で輝く三島にしたい

シビック
の旗手

三島花の会

会長 大村洋子さん

シビックプライドとは…まちに誇りや愛着を持ち、主体的にまちづくりに関わること。当事者意識の高い市民がこのまちの主役です。

歴史の小箱

No.367

近代三島をつくった人々
(將軍家茂の上洛)

今回は企画展「近代三島をつくった人々」第6章「交通の発達」で展示中の、「一四代將軍徳川家茂の上洛風景を描いた浮世絵を紹介します。」

一四代將軍家茂は、攘夷(外敵を撃ち払って国内に入れないこと)の方法をみずから天皇に奏上するため、文久三年(一八六三)二月に上洛の途に着きました。往路で東海道を用的、復路で海路を用いています。徳川將軍による上洛は長らく行われておらず、家茂の上洛は三代家光以来、二二九年ぶりに実施されたものでした。当時の人々にとってはまさに一大事といえる出来事です。

將軍家茂は、約三〇〇〇人の行列を従えて二月一三日に江戸を出立しました。一行は、一七日に箱根の山越えに臨み、箱根宿で昼休憩をとったのち、山中新田の宗

関寺で小休憩をとって三島宿に入っています。三島宿では本陣、脇本陣、旅籠(はたご)にそれぞれ宿をとりました。將軍家茂の宿泊先には、事前調査の結果、一の本陣である世古本陣(現在の本町交差点北西のパン屋辺りに所在)が選ばれています。翌朝、三島宿を出立して吉原宿に泊まり、三月四日に京都に到着しました。

右下の浮世絵は、このときの上洛をテーマとして描いた通称「御上洛東海道」という挿物の一枚で、三島宿通行時の様子を描いています。当時の出版法令は徳川家に関する事象を扱うことを禁じていたため、画面には「東海道 三嶋」としか記されていません。「御上洛東海道」という呼称はあくまで通称として使われているものです。

この挿物は、全一六〇余枚から成る大作で、江戸の版元二十以上が共同で企画し、歌川派の



▲参考：世古本陣の門
現在は移築され、長円寺の門として残る



▲御上洛東海道 三嶋

絵師総勢一六名が参加しました。三島を描いたこの一枚は、美人画や役者絵を得意とした三代歌川豊国(国貞)が担当しています。画面を上下で二分割し、上半分に三島明神(現三嶋大社)の鳥居と東海道を進む行列の様子を、下半分に三島女郎衆(みじまのぢやうしゆう)の身支度(みじたく)の様子を描いています。三島明神の鳥居の位置からして、京都を目指す行列は左から右に描かれなければならないはずですが、行列は右から左に向けて描かれており、構図設定上やむを得なかったものか、何らかの意図を含むものか、疑問が残るところです。

いずれにせよ、多くの版元・絵師が寄り集まって製作したこの大作から、二二九年ぶりとなる將軍上洛への、当時の人々の関心の高さがうかがえます。三島宿に住む人々も、同じく並々ならぬ関心をもってこの一行を迎え入れたものと想像されます。

ぼくが学校から帰ると、おばあちゃんには必ずおやつをくれます。おにぎりをにぎってくれたり、おかしをくれたりします。ぼくが熱を出して学校を休んだときは、お昼ご飯や飲み物を持ってきてくれます。おじいちゃん、ぼくが習い事に行くときに、車で送ってくれます。何かをがんばったり、成績が良いときは、おこづかいもくれます。ときどき二人でけんかしたり、のみ会でビールを飲みすぎたりするけど、これからも長生きして、ぼくを見守ってほしいです。

ぼくの
おじいちゃんおばあちゃん

当番 むらかみ だいごさん



佐藤明宏(76才)・澄代(71才)

村上大悟(向山小6年)